

Resilience Week

COLLECTIVE RESILIENCE
7-8 NOVEMBER 2022

An isometric illustration on a purple background. The central focus is a large, 3D block with the text 'Resilience Week' in white and 'COLLECTIVE RESILIENCE 7-8 NOVEMBER 2022' in yellow and teal. To the left, there are three smaller, tiered blocks. The top block shows three people standing around a glowing lightbulb. The middle block shows two people working at a desk with a computer. The bottom block shows a person presenting to a group of people seated at a table. The background features a grid of purple squares and dashed lines.

災害への備えと利益保険

—2011年タイ洪水に学ぶ—

Presentation by

三井住友海上火災保険株式会社

アジア社(シンガポール)
クレーム部 西郷 隆信



A Member of **MS&AD** INSURANCE GROUP

2011年タイ洪水について

国土の約3分の1が浸水

タイ国全体の被害総額は約3兆5,000億円

うち工業団地の被害総額は約1兆7,000億円

自然災害による経済損失は史上4番目の規模

700社以上の日系企業が罹災



2011年タイ洪水について

2011年10月 発災

2011年11～12月 各工場団地の排水完了。

2014 年3月 保険金お支払い完了(2.5年)

受付件数750件(非日系含む)、うちBIは50件

お客さまの声

工場内部の罹災状況、当時の心境

復旧作業で大変だったこと

復旧体制

様々な課題

麻痺(ソフト面+ハード面)

大規模な復旧作業(精密機械の大部分が全損)

原材料・部品供給先の確保(タイ国内、国外)

通関手続き

代替品、品質検査



お支払い保険金の算出工程

保険金お支払い金額

||

(a) 収益減少額

×

利益率

—

(b) 支出を免れた経常費

+

収益減少防止・営業継続費用

1

収益減少をとらえる単位の決定

2

罹災によって阻害される営業収益の検討

3

復旧期間の検討

4

補償期間の決定

5

標準収益の算出方法の決定

6

補償期間中の営業収益の確認

7

利益率の算出と約定補償率の比較

8

支出を免れた付保経常費の検討

9

収益減少防止・営業継続費用の確認

10

喪失利益の算出



収益減少防止・営業継続費用（追加費用）の具体

- a. 仮店舗・仮倉庫費用
- b. 増加した残業代・休日出勤手当
- c. 外注費用
- d. 仮復旧費用
- e. 緊急輸送費用
- f. 罹災した原材料、商品等の緊急仕入による割増費用

など

具体例1

費目	数量単位	金額
航空輸送	単価／個	80
海上輸送	単価／個	20
増加費用	単価／個	60
製品数	個数	100
収益減少防止費用	合計	6,000

具体例 2

Description	UOM	Amount
臨時雇い入れ(事故後)	人数	30
臨時雇い入れ(事故前)	人数	20
増加した臨時雇い入れ	人数	10
日給	日額／人	500
増加した臨時雇い入れ費用	円／日	5,000
影響期間	日数	60
収益減少防止費用	円	300,000

収益減少防止費用と営業継続費用の関係

製品Aの限界利益(営業利益+固定費)=50円/個



増加費用 40円/個

増加費用 70円 / 個



限界利益 50円



増加費用 40円 < 限界利益 50円

増加費用 70円 > 限界利益 50円



収益減少防止費用 40円/個

収益減少防止費用 50円
営業継続費用 20円

営業継続費用の手配

一日も早い事業再開のため

顧客との関係や信用を維持するため(主要顧客)

補償期間後の損失を軽減するため
(主要顧客の需要を満たし、事業再開後も安定したビジネス)

マーケットシェア維持のため

必要書類

- ・ 収益減少防止・営業継続費用の計算方法と根拠資料
- ・ 増加した費用の請求については、後で紐付け出来る工夫を(事故コードなど)
 - ・ 1) 発注書、2) 請求書、3) 領収書、4) 契約書などの補足資料

月次生産データ

月次売上データ

損益計算書(収益、変動費、固定費)

決算報告書

定期補修のスケジュール



保険会社との協議

平時からの備え



コンサルティングメニュー一覧

MS&AD インターリスク総研株式会社
MS&AD INSURANCE GROUP

BCP／BCM（事業継続マネジメント）▽	交通リスク▽	サステナビリティ▽
自然災害▽	火災・爆発▽	盗難リスク▽
コンプライアンス・内部統制▽	製品安全・食品安全▽	危機管理・危機管理広報▽
ERM（全社的リスクマネジメント）▽	D&Oリスク／法務リスク／CS・苦情▽	サイバーリスク／情報セキュリティ▽
安全文化醸成・労働安全衛生▽	人材・組織リスク▽	医療・福祉リスク▽
新型コロナ・新型インフルエンザ等の感染症対策▽	不動産デューディリジェンス▽	健康経営・両立支援▽
メンタルヘルス▽	次世代モビリティ実証（自動運転・MaaS／ドローン・自動配送ロボット）▽	荷役現場貨物事故コンサルティング▽

洪水ハード面の対策事例

- 重要な製造設備・検査工程・ユーティリティ設備を上階など高い位置に移設
- 資産を緊急避難させるための保管用ラック（想定浸水深よりも高いもの）の導入
- 1階の資産を2階に短時間で移すためのクレーンの設置
- 防水壁の設置（重要設備単位、プロセス単位、建物単位、敷地単位）など

洪水ソフト面の対策事例

- 河川の水位等から敷地までの洪水到達時間を推定
- 洪水到達時間から逆算したアクションプランの策定
- 主要な重量設備を分解のうえ、敷地内の高所に保管（上階、ラックなど）
- 移設訓練実施
- 原材料・仕掛品・完成品を安全な他の拠点に移動
- リソース（輸送など）の事前確保
- 適切な保険手配

ご清聴ありがとうございました